

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

		管理No.	
施設の名称	山形県産業創造支援センター	指定管理者	公益財団法人山形県企業振興公社
所在地	山形市松栄 1-3-8	県担当課	産業創造振興課
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和5年3月31日	(電話番号)	(023-630-2708)
検証期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日		
検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証	
1 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況			
① 管理・運営業務の履行状況	1. 仕様書に沿い、当初の事業計画どおり、管理運営体制を整え、入居室、貸会議室等の機能を正常に維持し、安全、清潔に保つため適切な維持管理を行った。 2. 仕様書に沿って、創業支援アドバイザー及び中小企業診断士による相談窓口の設置、創業塾等の提案事業の実施など、創業支援業務の効果的な実施に努めた。 3. 11月に開設されたスタートアップステーション・ジョージ山形との連携によりイベント参加などを促し、起業に向けての機運醸成を図った。	評価 A	<評価の理由> ○仕様書及び事業計画書に沿い、適正な管理運営・創業支援業務が行われており、入居率100%を達成した。 ○他施設との連携により、創業への関心や理解を深める取組みが実施されている。
② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)	1. 仕様書に従い設備の維持点検を委託により実施しており、業者の報告によれば、陳腐化・老朽化が進み、大規模修繕や設備交換等が必要とされている。このため、県との定期的な協議の場を通して共通理解を図り、役割分担を明確にしながら、課題に計画的に対応していく必要がある。 2. チラシ、リーフレット等の作成・配布及び新規創業者を対象とした利用料の低減を行った結果、入居率100%を概ね達成している。今後は更なる新規創業者の創業意欲促進のため、空きスペースを活用した入居室の増設や切れ目ない施設入居の促進などを検討していく必要がある。	<課題等の原因分析> ○施設開設から23年が経過し、老朽化が進んでいることが原因と思われる。	
課題、問題点への今後の対応	○施設、設備の修繕については、優先順位をつけ、計画的に修繕していく。 ○今後は入居企業の施設卒業に向けた支援を実施していくとともにホームページやリーフレット等を活用した広報活動を実施し、切れ目ない施設入居の運用に務める。		
2 利用者からの要望等への対応			
① 意見・要望等及びその対応状況	1. 施設利用者に対して投書箱を設置し、意見・要望等の把握に努めるとともに、入居者にも随時聴き取りをして要望の把握に努め、施設環境等改善できるものは速やかに対応した。 2. 会議室について平日17時以降及び土曜日・日曜日も使用できるよう利用者の利便性向上に努めた。 3. 特に研究開発室入居希望者のニーズに対応するため、時代に合った先端・成長産業部門に取り組む研究開発者が幅広く入居できるようPRに努めた。 4. 入居者等の要望に応え、感染症対策として施設内に消毒液の設置、簡便計測可能な検温器の設置などを行った。	評価 A	<評価の理由> ○意見・要望に対し、できる限り迅速に対応しており、苦情や入居者間のトラブルもなく、適正な管理運営を行っている。 ○利用者目線に立った柔軟な対応を行い、利用者の利便性の向上を図っている。 ○電子式体温計の新設、共用部・トイレなどへの消毒液の設置を行い、感染拡大防止に努めている。
意見・要望等への今後の対応	○アンケート・投書箱による意見要望の把握を継続して行い、施設でのトラブルを防ぐとともに利便性の向上に努める。 ○適宜、必要な場所に消毒液の設置を行う等、感染症対策についても柔軟に対応していく。		
3 指定管理者制度活用効果			
① サービスの向上	1. 創業支援アドバイザーとインキュベーションマネージャーの配置により、入居者及び創業相談者に対する経営面の相談指導の充実が図られたほか、指定管理者の専門指導機能(専門家派遣、よろず支援拠点等)の活用により高度な相談ニーズにも対応した。 2. 感染症対策のため、従来実施してきたランチボックスミーティングは開催できなかったが、アドバイザーなどによる個別企業巡回やメール配信などにより、企業とのコミュニケーション維持に努めた。 3. ホームページで公開している入居室や会議室の空き状況について、データの更新頻度を高め利用者の利便性向上を図った。 4. 会議室の使用許可申請について、様式をホームページに掲載し、メールやファックスでも申請できるよう利用者の利便性向上を図っている。	評価 B	<評価の理由> ○入居者・創業者への支援体制が強化され、指定管理者の専門指導機能等の活用につなぐことでニーズに合った対応が行われた。 ○コロナ禍でも、やり方を工夫し、入居企業との情報交換の場を持つことで、円滑な施設運営に役立っている。
② 経費の節減	1. 事務費・管理費の節減に努めた。節電については、入居者にも協力を呼びかけながら、必要性の低い箇所は消灯するなどして光熱費の節約に努めた。また、照明の修繕が必要な場合はLED化を計画的に進めている。	評価 A	<評価の理由> ○廊下・トイレの随時消灯など入居者に協力を促し、節電に努めている。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	1. 立地している「アルカディアソフトパーク」の自治活動に積極的に参加して施設利用のPRも行っている。清掃活動の際は、入居企業にも参加を呼びかけ団地内事業所との融和を図っている。	評価 A	<評価の理由> ○自治活動への積極的な参加により、地域に貢献している。
総合的な評価	○仕様書及び事業計画書に基づき、管理運営が適正に執行されており、利用者の意見・要望等に対して適切な対応がなされていると認められる。		

【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
 B : 概ね適正に実施されている。
 C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
 D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特長等に応じて適宜追加することができるものであること。